

すぎとえ
杉戸絵

◇ 指定日 平成元年6月27日

◇ 所在地 沢田

◇ 所有者 常安寺

杉の一枚板の表面には丹頂鶴2羽と真鶴1羽の計3羽、裏面には鳩がそれぞれ6羽ずつの計12羽が杉の一枚板に描かれています。

いずれも写実的に表現されており、表面の鶴は、その姿勢や動作が的確に捉えられています。

また、鳩は3群の群れを対称的に配置した構図となっており、しかも1羽1羽の特徴がよく表れています。

その画風や画法から江戸時代末期頃の作品と考えられており、「東舟^{とうしゅう}」という印がみえます。

